



佳作 初夏の香り
埼玉県の早野由香さん

今年二度目の富士山。ラベンダーが見頃だったので、花も一つ一つ綺麗に撮影したいと思い、ラベンダーの高さの目線から富士山を見上げる構図に。富士山の上側も見上げると、雲がリズムカルな感じなのが良かったです。

山梨県南都留郡
富士河口湖町



講評

竹内敏信先生 あめつち
1943年愛知県生まれ。写真集『天地』で2004年日本写真協会賞年度賞受賞。日本写真芸術専門学校校長。数多く発表してきた桜の写真に代表されるように日本屈指の風景写真家である。

大賞 御射鹿池 緑静か
東京都の岸田隆雄さん

東山魁夷画伯の代表作「緑響く」に感動し、そのモチーフとなった奥蓼科の御射鹿池へ。ひっそりとした佇まいに一目で「緑静か」のタイトルが浮かんだ。水面はまさに明鏡止水。さざ波の消えるのを待ってシャッターを切りました。

長野県
茅野市



幾重にも重なる樹々、草の茂み。表情の異なる緑が互いに響きあい、静かな調子を奏でています。木立ちの直線は倒影の神秘さを際立たせる重要な要素。よく生かしています。隅々まで構図が整いながらも、撮影者のてらいのない感動がそのまま伝わります。静かに眺めていたくなる、素晴らしい作品です。



機内より富士山／埼玉県の小谷輝江さん

空からの富士という魅力的な主題を外輪まできれいにとらえました。同じ白でも山肌、雪、雲とそれぞれの質感を再現できたのは、シャッタースピードの選択の確かさです。短い撮影時間でそれが実現できたのは、作者があらかじめイメージを持って撮影に臨んでいるためです。



陽光の又兵衛桜／三重県の明石義男さん

桜の花がそれぞれの色合いを静かに主張しながら全体で迫ってきます。並々ならぬ強い生命力や周囲の空気感までが伝わってきました。撮影のポジション、角度とも絶好のポイントであり、人の気配を除いた点にも相当の努力があったはず。一幅の絵のような作品です。



サンタ・マッダレーナ村の風景／東京都の淵江忠良さん
優しい緑に包まれた家々や教会に人の営みを想像し、心なごみます。しかしその背景には切り立った岩峰が連なる圧巻の風景が。ゴツゴツとした山肌の硬質感が素晴らしいですね。雲の流れも画面の奥行きに効果を生み、ドロミテの壮大な魅力を余すところなく伝えています。



ねぶた信玄公／兵庫県の森本和夫さん

人出の多い青森ねぶた祭りで、望遠を活用したにせよ山車をここまで寄って撮影できたのはまれなことでしょう。周囲の要素を極力除き、モチーフに食い込むように向かって、ねぶたの成形や絵柄を量感とともに再現しています。喧騒の中で安定感ある画面を切り取りましたね。



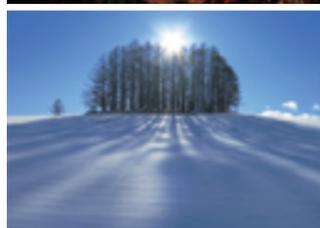
鍵掛峠／愛知県の山下勝隆さん

大山の存在感が実に美しく表現された作品です。ブナの原生林、ナナカマド、カエデなど種々色彩豊かな紅葉に濃緑の林が深い印象を残し、自然の力強さや巧まざる調和に胸を打たれます。空の様子が風景全体にさらに勢いをつけましたね。雪が訪れる前の珠玉の瞬間です。



真冬の輝き／宮城県の浜田洋一さん

雪原に立つ木立ちを超えて、太陽の輝きが飛び込んできます。刻々と移っていく光に魅せられた作者の心情が素直に伝わってきました。端正な雪の風紋に伸びる木々の影が幻想的。色温度の影響で青みが備わり、曇天気を高めています。澄んだ大気を吸い込みたくなる一枚です。



初夏の香り／埼玉県の早野由香さん

富士山をはるか遠くに置いた、思い切った画面の切り取り方が大胆で見事です。フィルターの選び方も表現力豊か。空の青さが力強く、気持ちが晴れ晴れとしますね。ラベンダーの咲く時期の季節感が十二分に表されています。三脚を使ってじっくり構成した気配から、作者の力量が感じられました。



表紙

1
2月

3
4月

5
6月

7
8月

9
10月

11
12月

このページ
の作品